

③エネルギー診断者やアドバイザーの育成

以上のような事業を進めていくためには、市民や事業者、行政の中に機器や住宅の省エネルギー性能に関して適格に判断、診断できる人材が必要です。国の制度などを活用し、市内に住宅の省エネルギー性能評価、機器設備の省エネルギー診断のできる人材を育成する必要があります。こうした福生市独自企画のエネルギー診断者や省エネルギーアドバイザーを登録し、市民に紹介することで、普及を進めます。とくに電気店、ガス供給事業者、工務店など、エネルギーに関わる事業者には、取得を依頼することが重要です。

④事業所の省エネ推進・ESCOの導入

2-4節で述べたように、事業者や工場へのESCOを着実に進めるために、ESCOやコージェネレーションシステムを導入する事業を市内に構築していくことが考えられます。

(2) 2010(平成22)年以降の施策

各省エネルギー施策の着実な導入を進めると同時に、戸建住宅だけでなく集合住宅における省エネルギー診断や改修の技術やノウハウ、住宅版ESCOの可能性についても研究を進める必要があるでしょう。